

資料番号	地域7
------	-----

令和5年6月22日
課名 地域政策局中山間地域振興課
担当者 課長 藤谷
内線 2631

「ひろしま里山グッドアワード」の募集について

1 要旨・目的

「ひろしま さとやま未来博 2017」の「さとやま未来大賞」を引き継ぐ形で、中山間地域にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取組を表彰し、地域活動に対するモチベーションの維持を図るとともに、そのプロセスやノウハウを共有することによって、取組の更なる普及促進を図る。

2 現状・背景

第Ⅱ期「中山間地域振興計画」に基づき、全ての活力の源泉となる「人づくり」を3つの施策の柱のひとつとして重点的に取り組んでいる。

県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かした取組を、地域にもたらすことが期待される効果とともに可視化し、広く周知していくことによって、新たな活動の創出や磨き上げにつなげていく必要がある。

3 概要

(1) 対象

県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの提供につなげている優れた活動を実施する者（令和4年度中に活動した実績があるもの）であって、団体（非営利公益活動団体〔法人格の有無を問わない。〕、地域住民組織、企業等）又は個人が行う取組

(2) 事業内容（実施内容）

賞の種類	さとやま未来大賞（1件）、未来のたね賞（1件）、入賞（3件程度） ※ 大賞の副賞として、活動の紹介映像を制作
応募期間	令和5年6月5日（月）～令和5年8月4日（金）
応募方法	専用ホームページの応募フォームによる
1次審査	9月にアドバイザー及び県による選考会を実施し、応募の中から5件程度を選定し、一般投票に。 (アドバイザー) 藻谷 浩介氏（株式会社 日本総合研究所 主席研究員） 新里 カオリ氏（立花テキスタイル研究所 所長） 新條 隼人氏（株式会社ドットライフ 代表取締役）
一般投票	令和5年10月2日（月）～11月30日（木） ○ インターネットによる投票を実施 （昨年度の投票総数：7,722票。うち大賞は2,033票獲得） ○ 実践者の活動を広くPRする機会とする。
表彰式	令和5年12月9日（土）※安芸高田市内で実施予定

(3) スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
●HP開設、募集準備 応募期間 6/5-8/4			●1次審査	一般投票 10/2-11/30		●表彰式

(4) 予算（単県）

5,068千円

4 その他（関連情報等）

(1) 過去の「さとやま未来大賞」受賞取組

取組の名称及び概要	団体名	
<p>安芸高田発、国内最大規模の竹チップ堆肥センターで里山資源活用</p> <p>放置竹林問題を解決しながら、里山から生み出される資源を活用し、竹チップ堆肥を製造することにより、里山資源の価値の最大化や持続可能な里山の復興を目指した取組。</p>	<p>株式会社リビングファーム 広島（R04） 【安芸高田市】</p>	
<p>地域の児童数を100人に！</p> <p>多世代の仲間による地域の魅力発信や、子ども向けの自然体験会など多様なプロジェクトの実施により、地域の児童数が100人を大幅に下回ることが予想される中、「児童数を100人」にすることを旨とした取組</p>	<p>100プロ （R03） 【北広島町】</p>	
<p>観光地を体験と学びの場に「三段峡野外博物館プロジェクト」</p> <p>特別名勝「三段峡」の自然環境を活用し、子供達への環境教育プログラムの提供や環境省SDGs研修などを実施し、三段峡を観光地から体験・学びの場へと新たな価値を見出した取組</p>	<p>特例認定NPO法人三段峡一太田川流域研究会 （R01） 【安芸太田町】</p>	
<p>スマイル10アール</p> <p>農家と企業を結ぶ「田んぼのオーナー制度」。生産量の少ない優良なコメを上手く経済循環させるとともに、地域内での雇用も創出</p>	<p>小川商店他 （H30） 【三次市】</p>	

(2) 専用ホームページ

<https://good-award.jp>

